

4 登校時間や学習場所を自分のペースで選べること

登校時間を選びたい

【小学校・小学部】

- ・登校時間を変えられるのがいいのは、バイトや外に出られないときなどにやくだつので、学費をちゃんと払えそうなので、いつでも授業ができるのはすごく感心しました。
- ・登校時間を自分のペースに合わせて選べるなら、起きるのが苦手でも時間に遅れることがないし、それで怒られないから良いと思う。
- ・時間がきっちりきまっていると負担になったりすることがあるので、じぶんは自分のペースで通ってみたい。

【中学校・中学部】

- ・朝は体調が悪いとかがあっても登校時間を自分で選べれば、学校を休む日も少なくなって勉強も遅れてしまったりすることが少なくなっていいと思います。
- ・登校時間を複数設けるほうが良いと思う。企業で採用されているフレックスタイム制のように、自分で複数設けられた登校時間から選んで決められた学習計画をこなすというようにすれば、電車が遅延したり、病気で朝起きることが辛い人でも安心して学校生活を送ることができると思う。

【高等学校・高等部】

- ・働きながら、夜高校に行っているが、もう少し定時制などでも幅広い分野の勉強がしたい。

学習場所を選びたい

【小学校・小学部】

- ・通信制で学費が安い高校にかよいたい。
- ・高校そのものに行って学ぶほかいろいろな方法で勉強できる学校に通いたい。
- ・家からのオンラインで勉強したり、歩いて登校してもいい高校。
- ・人見知りな人がいたら、人が少ない、違う場所で勉強をしたいと思いました。

【中学校・中学部】

- ・登校時間が選べるのは家が遠い人にとっては嬉しいけど、あまり自由にしすぎると将来会社に勤めて入社時間が決まっているときに守れなくなりそうと思いました。でも、学習することは嫌じゃなくても、クラスの人が嫌で学校に来られない人もいると思うので、学習場所を選べるのはとても良いと思いました。

【高等学校・高等部】

- ・通信制の高校で農業や商業、漁業などの専門的な学習を学べる高校があれば高校選びの視野が広がると思う。

4 登校時間や学習場所を自分のペースで選べること

登校時間と学習場所の両方を選びたい

【小学校・小学部】

- ・登校時間や学習場所をえらべたら、勉強がもっと楽しくなったと思ったから。
- ・早起きが苦手な人や違う学習場所がいい人は自分にあった登校時間や学習場所を選べるから、みんなが集中して学習に取り組めるので良いと思いました。
- ・自分のペースとお気に入りの場所で少しずつ今ある自分の弱さを克服していき、将来の自分の夢に近づきたいです。

【中学校・中学部】

- ・定時制や通信制など、時間や場所が選べていいと思った。
- ・中学生の頃不登校だった生徒などでも、気が楽になって学習できる高校に通ってみたいです。
- ・学習場所を選べれば、落ち着いて集中できるところが選べて、覚えやすくなり成績が良くなるから、行ってみたいし、時間を決めれると、いくら家が遠くでも、授業を受けることができるから行ってみたい。

【高等学校・高等部】

- ・朝起きるのが苦手なのでゆっくり登校したいです。また、学校という場所では無く、1人で静かに学べる場所に通いたいです。
- ・自分のペースで登校時間、学習場所を選べるのは革新的だと思いました。ですがその分沢山の意見が必要だと思いました。自分の好きに選べて勉強のやる気も上がると思います。

4 登校時間や学習場所を自分のペースで選べること

県教育委員会からのコメント

県立高校の現在の姿

○高校は登校時間や学び方によって、「全日制」、「定時制」、「通信制」の3つの種類に分けられます。

○朝登校して、授業を受ける高校を「全日制」高校と言います。

夕方または昼間の決められた時間に登校して、授業を受ける高校を「定時制」高校と言います。

自分で学習計画を立てて、インターネットなどを利用した通信教育で学習する高校を「通信制」高校と言います。

○自分の生活スタイルにあわせて、朝から夜の中で学習する時間帯を選ぶことができる「定時制」を「多部制」と言います。

○「定時制」高校には、出席日数などに不安がある生徒も、高校への入学を目指せる制度（チャレンジ枠）があります。

○「定時制」、「通信制」は、学校生活以外に時間を有効に使いたい人、もう一度学校で学びたい人などの様々な希望に対応しています。

ただし、不登校などの生徒への対応が増え、高校は、子どもを社会に送り出す役割、子どもの居場所として役割などの強化をしなければならないという課題があります。

県立高校の将来の姿

○「定時制」、「通信制」に入学する生徒の数や、国や他の県の取組に注意しながら、子どもを社会に送り出す役割、子どもの居場所として役割などの強化を進めます。

○今ある「定時制」高校の中で、新しく「通信制」の学びができることなどを目指します。